

# パリの女性

(2)

元と文  
鴨居

玲



思われぬ不注意から右腕を折り、  
全く散々な夏であった。  
さて、向い側にモジリアニが、  
下にはゴーギャンのいたアトリエ  
のある所に私はパリのアトリエを  
定めた。と、意味ありげに書いた  
ところで薄汚い何の変哲もない安  
ホテルの一室にすぎない。隣の部  
屋を覗くと日本人の矢張り若い画  
家がいた。段々口を利くようにな  
り「パリの画壇について貴方の御  
意見は?」というような話題が二  
日ばかり続いたあとで、お互に  
しんどいなアとばかりに80度に話  
題を変えたのは我ながら教養がな  
いと思う。さてA君は「俺は生れ  
つき馬鹿で、学校が嫌いでローマ  
字もよく読めないんだ。しかしあ

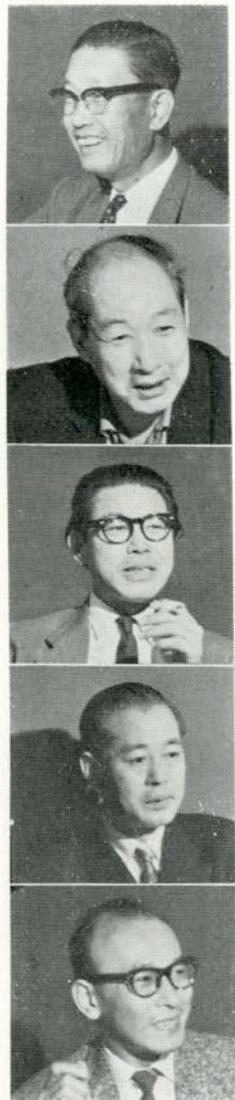
前もバカだな、パリへ奥さんと来るなんてのはお前何しに来たの」「じゃあんたは奥さんを日本に置いてきたの?」「バカだよおメエは、結婚する程俺はバカじゃねエンだから」バカにもいろいろ種類があるらしい。「俺は今度、彼女をつくるつくるつもりだよ。ホントにおメエはバカだな、しかし彼女をつくるにや言葉が使えなけりやー」かく私もA君のお伴でベルリッジスクールに通う身となつた。それからのA君は、それこそ寝てもさめても、のすさまじさで動詞變化の暗記、「俺はね、バカだからやれるんだ。おメエなんか生じつか中途半端に学があるからやれないと」。

そのA君が、ある日もつと安いホテルがあつたから移るよ、とセーヌ河に近い所へ移つて行つた。三ヵ月もたつたろうか、A君意気揚々と現われた。「オイ彼女が出来たよ」また一顔は風采からして日本でも仲々彼女の出来そうにい彼なのだが、矢張りパリは話に聞いた『恋の都』なんだろうか。「カフェでね、女性がいるだろうそしたらサ、フランス語の教科書を開いて質問するのサ、喜んで教えてくれるよ、それからさすべては……」「あんた少しもバカじゃないよ」「おメエよりは執念があるからな、俺今な、米、仏、独なのさ」驚きと少しの羨しさで私は阿然となつた。

「忙しくてなア、おメエとつき合つちやおれねエよ、絵を描く暇もねエがお陰でフランス語は上達したね。」「どう? 想想は」具体的に聞きたい所だが何が私の邪魔をした。「フランスの女はタイハイテキだよ。おメエすげーんだから俺面喰つたよ」何がタイハイテキか詳細は分らんが、彼は満足しきつた顔で「然しな、世界中矢張り結局は同じさ俺ケエルゼ」彼のいう通り俺はバカに違ひない足しきつた顔で「それにしても米仏独とは、畜生! まるでオリンピックじゃないか。その上フランス語アラベラときやがる。その夜、私は神戸のみるからにラテン系ではないかとさえ思われる程女性に親切で関心をもつMさんに手紙を書いた。「また世界中の女性も別にたいして変ったこともないが、さすがに伝統を誇るパリジェンヌはすごい。私は面喰つたよ、云々」と。

(画家)

# 神戸の文化をどう創る



文化人口はふえつつある

宮崎 どういものかこれまで、神戸には文化的な動きがなさすぎましたね。

松井 おっしゃるよう、神戸にはそうした動きが余りにもなさすぎた——の一言に尽きるでしょう。日本の情操文化のあり方をみますと、芸術活動は東京が中心だし、その東京に対する関西、あるいは東京に対する大阪というものは、一応形づくられてるんですが、神戸は大阪の陰になつて消えてしまつてる(笑)古ほけてひすんだ郷土主義じやなく、もとと神戸独自の動きといふものがあつてもいいですね。

沼 古典の方ですが、ずっと昔は神戸といえば大阪でみられないものがありましたよ。東京歌舞伎なども大阪を素通りして神戸にきました。音楽の方も神戸港が日本上

陸の第一歩、まつさきに神戸でやつたのでしょ?かつては——

宮崎 神戸で『演劇不毛の地』といふ言葉をよく聞きますが、いまのお話では、東京歌舞伎が大阪を素通りしても神戸でやつてたというのはいつ頃ですか。

沼 昭和初期でしようか。

吉村 それは八千代座?どこかな

宮崎 一番最初は八千代座でしょうね。それから松竹劇場が出来たんですね。私は子供心に覚えてるんですが、聚楽館が帝劇の真似をして建ち、オペラもやつてたことがありましたよ。

沼 そういうことで、私は神戸の文化といふものが羨ましいと思つことがあるんですよ。よく歌舞伎をみに神戸に出かけたものです。

宮崎 私らもそししたものを子供

時分にはよく見にいった経験もあるし、神戸でも相当盛んだつたよな感じがするのに、いわゆる大

松 井 高 男  
(神戸新聞学芸部長)

沼 赤 生  
(演劇評論家)

吉 村 一 夫  
(音楽評論家)

宮 崎 辰 雄  
(神戸市助役)

沼 井 高 男  
(演劇評論家)

人としてのもの心がついてからですね（笑）神戸には殆どそうしたものがない。戦後は素通りが多い交通と人口問題もあると思うんですが、何も神戸にこなくても愛好家は大阪えといふ時代になつてきたんでしょうね。横浜があります。横浜は東京へ行けばよい。神戸は大阪へ行けばいいんだとね。じゃ京都は何故かつていいますと、京都は元来がそういう雰囲気の都ですから、まあ、これはそこである程度定着した——と、いうことじやないかと思うんですよ。そういうことでね、急に文化活動を起しても神戸では育ちにくいような感じがして仕方がないんですねが大へん淋しいことなんで、何とかうまくいくように考えない

といけないんだけど——（笑）赤根　京都、大阪、神戸と関西の三大都市を比較した場合、文化といふか、芸術というか、そういうものの範囲で神戸には何か新らしいものが芽生えてくる上の一つの抵抗が何もないと思うんですよ。京都が割合い前衛運動が盛んだと、いうのは、やはり古いものが頑としてあるからだと思うんです。大阪は人口の関係もありますが、何

か文化以外のピアな形での芸術とか以外の不純な要素が多いようになります。神戸は非常に小さくない面が大きいにあって、それが奇妙に溶け込んであまりエネルギーとなつて出てこないのではということがいろんな面でいえると思うんですね。いまの絵なんかわねみな外來の文化で、例えは美術の面でいえば、風景はたくさん描く

処はあるし、気候はいいし、山あり海ありで、その中でやつておれば結構、絵になるし、その絵にない方が、非常に地方的な形である程度やつていけば、神戸なら神戸という小さなサクの中で何んとかお茶をこせる状態にすべてがそ

うなつている面があると思うんで

すよ。

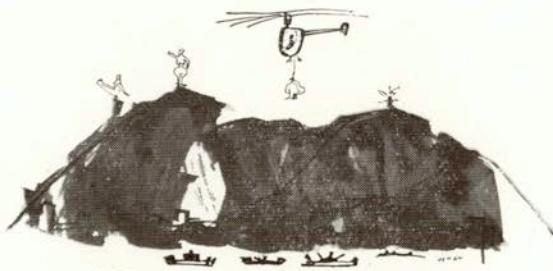
宮崎　少数の人を対象とする芸術というものはね、神戸でもいけると思うんですよ。でも大勢の動員を必要とするとね、神戸ではダメなんですね。いまの絵なんかわね描いて特定の顧客に売る、こういうものはね、売る相手が一人ですからね、これら商売も成り立つし、いまおつしやつたように環境もいいからね。所が大衆を動員しなければならない音楽、演劇などは人口や交通問題などで變つてきつつあるという気がして仕方がないんですよ（笑）

沼　けっきょく、どの都市にしても文化人口というものが少くないのじゃありませんか。戦後は発展はしましたが、自分の生活の建て直しに窮々としていましたからねもう少しすれば、そうした文化人口というものは大いに出来てくるんでは——という希望をもつてゐるんですよ。まだあわてなくとも、悲観することはないと、いう気持なんですが——

神戸で国際的美術展を開こう！

六甲山で彫刻展を

世界からお客様がやってくる。



松井　再び醸成されつつあるといふことです。精神生活を豊かにするために、これらの市民生活に、それらは欠かすことの出来ないものになりつつありますし、能にしましても、友の会などが出来てるのをみますと、そういう人口がたとえ五、六百でも出来て

きたことは一つの進歩だし、能以外のものにしても、労音、労演にしても数が増えてきてますわね。これらはやはり大資本的にやつたからいけたわけですが。でも県市や新聞社などが力を入れれば案外、古典のものなどもいけるんじゃないかと思うんです。

吉村 ところが、そうした指導者階級には音楽や新劇は解かる人は多いが、歌舞伎や淨瑠璃には理解のある方が少くないでしょ。だから敬遠されるんですね。これではよい大衆はついてくれないんですけど。ま、そこらの点が進んでくればよくなるんではーと思いまますが…。

松井 大衆動員の点で神戸の絶対人口の問題というものは、さきほどおっしゃつたようにどうしようもないと思いますね。同時に阪神間はとくに交通の便もあり、なにも神戸でやらなくて大阪へいけばいいわけですが、これはやはり特定の人に限られるのであって、いまのお話しのようにそれだけの人口、そしてムードが醸成されだしてきました以上は、鑑賞する側にとつても、文化活動をやる側にとつてもやはり地元に何かよりどころがなければいけませんね。

宮崎 それは望ましいことですね

吉村 創造する側は、阪神間に住んでる方が多いでしょ。寝る場所としては兵庫県だけど働きの場としては阪神間一まあ、どちらともいえないけどね。だから、神戸としては、もうエキゾチズムは次第に下火になると思うんです。カ

ワラせんべいの方もローカルなものになり何か新らしい特殊なものになりますよ。ホールも出来てるしね何か神戸には「みなと神戸」としての女の子のものが大阪より気がきいているといった線か、あるいはローカルな線のどちらかでないと特殊性は出ないと思うな。

宮崎 ローカルなものは、40年で出来あがった町ですかね。伝統がないでしょ。そうなると、迄もろ特色のあるもの、それが今まで「みなと神戸」というもので表現されていたのでしょうか、それがだんだん薄くなりますね。むしろ港が「空の港」になってしまつたりしましてね。ではその特色をどういう処へもつていくかといふことを今後考えないといけないと思うんですが、私もこれはわからりませんね。

吉村 だから大阪や京都の亜流であっては意味がないということから始まって、それより前のことはあまり気にする必要はないと思うんですがー。これは僕がこの七月に欧洲の展覧会を巡った時に感じたんだけど、オランダのファンターレンという処にフランス・ハルスの美術館があるんで、その美術館が出来て百年というのでその記念祭があり、世界各からの作品が集まつたのです。が、それだけを見るためにオランダへくる人がずいぶんいるのが、それが僕らには一番大きいです。

吉村 前衛はとにかく神戸だつたものとかね。

赤根 これが僕らには一番大きいです。カビ臭いものではなく、むしろその方が行きやすい、やはり「あすの文化」を目指すべきだし、他都市のものまねではなく、神戸独自の個性を持つべきですよ。

吉村 文化活動の場がほしい

吉村 前衛はとにかく神戸だつたものとかね。

赤根 これが僕らには一番大きいです。が、それが僕らが実験的に活動を行なわれるようなものになる特殊性というものが出てくる。

沼 大阪でもそういう前衛的なも



きものさろん  
服飾細貨 東西店  
きものと細貨 新橋店 東京  
神戸

ちんざら庵

神戸・西店 TEL ⑧ 8836  
⑧ 0629  
東京・新橋店 (571) 0807

紳士服飾・婦人服飾  
**セリザワ**

SERIZAWA

紳士服飾 / 大丸前 ⑧-3900  
婦人服飾 / 大丸前 ⑧-1695  
婦人服飾 / 三宮セントラル街 ⑧-6114



Let's get by Pretty

おしゃれの季節

婦人帽子 マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2  
TEL ③ 6711-3 TEL (535) 5041



金 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693  
大阪・高麗橋二丁目 ② 2106

のをやるんですが、一番困るのは経済問題ですね。やるとすれば個人でやるわけですが、シニセがついてれば誰もが引き受けますが、どうなるかわかりませんでしょ、だからお金を出す人なんて恐らくいませんからね。やれば赤字が出ますからね。それで片づけばいい方で、そんな状態だから前衛活動をしようと思つても出来ないでしょ、税金をそんなふうに使つてもらっては困る。ただそういう団体やアーチストたちが活躍しやすいような場をつくつてやる——というそういう基礎的なものがもつと何か施設としてあっていいと思います。

宮崎 何か一つの音楽なら音楽がそこでやれるような場所を持つとが先決問題だというようなござ見なんですが、ところが、これは役人の感覚になるんですねが（笑）いまの行政制度ではやれないふうになってるんですよ。京都の美術館や大阪の天王寺のも、東京の日比谷公会堂などにしても全部戦前のものなんですね、戦後はそういうものに対しての財源をみとめないんですよ。

京都に京都会館が出来たのは、観光税をとりあげてお寺の拝観料などからとった税で作つたんですね。国自身はやれるんですね、国立劇場を作るとかいってますが、地方にはそれだけの余裕を与えた

育てられ

のをやるんですが、一番困るのは経済問題ですね。やるとすれば個々でやるわけですが、シンニセがついてれば誰もが引き受けますが、どうなるかわかりませんでしょ、だからお金を出す人なんて恐らくいませんからね。やれば赤字が出ます。これをうめるのに二、三年はかかるります。これで片づけばいい方でありますからね。そんな状態だから前衛活動をしようと思っても出来ない活動をしようと思つても出来ない

**松井** そうしたことで思いますのはね、特定の団体に県市が補助すること、これは考えられないことですからね。税金をそんなふうに使つてもらっては困る。ただそういう団体やアーチストたちが活躍しやすいような場を形づくってやる——というそういう基礎的なものがもつと何か施設としてあっていいと思います。

**吉村** そりや、市民劇場とか実験劇場とかいったのがほしいね。

沼 新劇団体でも仮りにそうしたケイコ場があつて提供してもらえない市会館などで低料金で貸してもらえるとなれば、すぐやれますからね。仮りに赤字が出たとしても少くなくすむ。今のように普通の商業ホールを使って、ケイコ場にはどこかの事務所をかりるとなると費用がいって大へんです。その上キップを売るとなればおまわり大へんですよ。それから、これらは私の経験からですが、マスコミの影響力って偉大ですからね、だから自新らしいもの以外の目立たぬ存在のいいものも大いにとりあげてほしいですね。新聞社がちょっと力を入れてくれるだけで違つてきますからね。

吉村 文化国家が立派なのは、口先だけですな(笑)

吉村　補助金を出すべきもののかどうか、税金をとつてゐるんだからね（笑）

沼　赤字のものでも入場税はとるんですからね、安くなつたとはいへ、これは矛盾してますね。

宮崎　できれば大きなものを作つて、大劇場もあれば小ホールもあつたりといろいろな用途別の施設がある——というのが理想でしよううござんす。

赤根　美術館にしても常設といつて、ことじやなく、又市と県がコレクションを持つということでなければ、そう困難ではないと思うんでですが——私、一つ考えたことがありましたよ、例の県展ですね、おのれの賞を何か買い上げ賞みたいなもので奨励賞を、どこかの機関が年に一、二点でも買あつて、そ

れを県庁や市役所など公共に寄贈する。そうすればそういう絵が一般的の殺風景なオフィスに飾られ、一方では郷土の作家の作品が何らかの形で残っていく——ということになればいいのだと思いますね。これは一例ですけど。

赤根 いいアイディアですね。

宮崎 絵の買いあげという案は、チョットもつたことがあるんですよ。できればこれからは年に少しでも予算を組んでそういう絵を買わげないかと思いますね。

今年初の試み

### 兵庫県芸術祭

沼 県の芸術祭というのは——

松井 今年はじめての試みですが、各文化団体が連名で抗議書を送つたり、いろいろ批判はあるよう

赤根 これはローマから車で行くと小さな町でスポーツレートという町があるんですが、そこでモニヤニーニとかヘンリーモー、日本の東という人など世界各国から彫刻を集めた国際彫刻展が開かれてるんですよ。恐らく文化の文の字もない小さな町なんですがね。

路次の入口に大きなブロンズがあり道路を掘つてそれにモアなど大きな作品、国際級のものが集められてるんです。そして町ぐるみがこの彫刻展に集中し、誇りにしているんですね。夜は照明でてらしてました。

今度のようすに、文化祭みたいな形で、演劇あり、音楽ありと総花的にやるという芸術祭も大事でし

ようが、そういうた何か大きめのをドカンとやる、神戸以外では

何処もやってないといったものを

ね。神戸人の持てる国際的な感

覚を単に何んとかセンスとかいう言葉でないものでボカッとする。

松井 今度の芸術祭でも、日本で行なわれている芸術祭を非常に観念的にとらえてそのままやつてゐるわけでしょ。スタイルとしてはね

その辺に問題があると思いますね。兵庫県独自のカラードと個性は全くないでしょ。主張性が全然ない

宮崎 そう、全然ありませんね。神戸を舞台に何か新らしいものを紹介していく、注目させるという意

ところにむしろ文化祭としての意義がありそうな気がしますが。

吉村 大阪の国際フェスティバルでも、いまでもその気持があるでしょ、が、やはり全世界にボスターをバラまいて全世界から本当に

国際的なお客様を呼ぼうというのがねらいでね。見本市とぶつかった

時にはそれが実現しますが、実質

は国際的なものを日本人に見せ

るという風になるんですね。

賞を出してもっと奨励しよう

松井 大阪には市民文化祭と大阪府芸術祭の二つがありますね。

吉村 大阪府の方はね、賞金を出

して脚本募集をやつますが、今

年から映画の脚本も認めるようになつてます。他は市と同じように各

催のを参加させる。この他は府

浪花賞、芸術賞がありますね。府

の芸術祭の賞金は30万円のワケで

これを分配するわけですが、団体で5万、10万位、個人で入選程度だと一萬円位とかね。

沼 とにかく市の場合は、参加作



ひんくこーなー

「文化の日」の特集だから、ビンクコーナーもお上品に……といふと注文ですが、だいたいセックスを低級だと考える方がいたいへんと誤解です。それ、セイ(聖)なるものは……というではありませんか。それに引きかえ「文化」という名がついたおかげで低級にならぬ。見本市とぶつかった時に享樂の生活に一生を捧げた十一代将軍家斉が、大奥三千の美姫にかこまれていた時代です。将軍すぐ江戸後期の文化年代を思いだします。いい時代でしたな。なにしろ享樂の生活に一生を捧げた十一代将軍家斉が、大奥三千の美姫にかこまれていた時代です。将軍が「率先垂範」するのですから下みなこれに習えで、享樂の気風は全国を風靡しました。「文化」という年号はよくもつけたものだと思います。それに特筆すべきことは「逸著聞集」(いっちょもんしゅう)「阿奈遠佳志」(あなおかし)「痴姑射秘言」(はこやのひめごと)といったセイナル名著がこの時代の前後に生まれてゐることです。さすがは国文学者の筆のすきびだけあって「おんみづから御腰をもたげさせ給へるかたじけなさに、仰むけ臥せ奉りて……」といった名文でつづられていました。これを「文化」といわばしてなんぞや。

品が大へん多いですからね。一〇〇件以上もあり、その中から10人足らずの人が選ばれるんだから、そりゃ負けになりますよ。また賞をもらつたということはパンフレットなどにのればいい肩書きに

宮崎 文化的な動きが盛りあがつ  
てきたから文化施設を作らないとい  
けないという考え方と、作らな  
ければ盛りあがらないという考え方  
とあって難かしいですね。

松井 芸術祭というものはいま曲庫県がそれらを踏襲する手はないだいたい芸術祭は二つの形に大別できます。つまり参加する形と、鑑賞と。そして一般市民の生活を豊かにしていくためなら、少くとも労音とか一般興行でやれないもの、一つでもいいから最高のものをやってほしいですね。

吉村 お金がなければ、名譽賞でいいから、紙一枚でもいい、そういうことを活発にやられることは必要だと思いますね。

赤根 それと、出来る出来ないは別にしても、そうしたことをいろんな席で、しゃつちゅう言わなきゃいけませんね。

吉村 それから警官を表彰するようにならゆる面で表彰してそういう線を示すんですね。紙一枚で出来ることをね。

沼 大阪市の文化賞でも紙一枚の名譽賞を出したことがありますよ。

吉村 梢などでもいいですね。

宮崎 県や市が芸術に理解をもつてゐるんだ。大いに奨励してゐるんだ。  
ということを見せる必要があるね。

宮崎 神戸にオーケストラを持つことは――という提案があるんですね。  
吉村 が：  
神戸市は優秀なジャズ・バンドを持つ方がいいと思うな  
(笑) な  
(笑)

松井 そういうふうな育成という点では意見がいろいろあるんですが、今もっと考えたいのは一般市民が生活の中でどれだけそういう文化を享受できるかということです。これは私たちの大きなテーマになつてゐるんですけどね。花火のような芸術祭なんかじゃなく、もつと日常的な場でね。それにはやはり美術館を町の中に建てるとか、吉村 とにかく、ミス神戸をペレードさせとかいったものでなく、もう少し先きのことをね(笑)

松井 経営官的の面でむしろ少綱の吉野のオーケストラの方が中途半端ではないかな。やはりシンフォニックではないか。オーケストラだろうけど……京響でも定期演奏は入らないらしいね、大阪や神戸へ来るといいようだけど。

赤根 本格的な立派なものを作つて出稼ぎにまわりますか（笑）

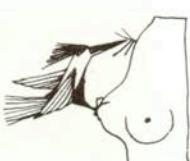
宮崎 それは困りますし、とにかくむづかしい問題ですね。

また、いろいろとご意見をきかせていただき、参考にさせてもらいましょう。

文化のはしまりは、日本文化の発明あるいはいつていいでしょ。エジプトでは水草からバビルスという紙をつくりました。やがて羊の皮をなめし「羊皮紙」ができました。そして木材ペルプから紙がつくられるようになると、文学は急速に発展して行きました。もともと、なまには屠屋が自方で買つて行くようなものもありますけれど紙のおかげで名作は後の世まで残ることになりました。

さて、文化に与えた紙の功績は、文学や学問の本だけではありますけれど、が役立つてゐるのも、大いにこれ。國によつては、紙を使わないところもありますが、日本では昔から紙を愛用しています。そして、もつとも上質の紙を必要とします。ガサガサと音のするような紙は、落第です。「みす紙はふくの、小菊はやるのなり」という川柳がありますが、小菊という紙はふくための紙、小菊、金をやるかわりに小菊をやるといつて小切手みたいに使われたものらしいです。どちらも上質紙の代表ですが、金のない連中には、こんな上等な紙は使えません。

「鐘は上野か浅草か」をもじって、「下女の恋紙は上田か浅草か」という句があります。上田、浅草と、センカ紙のような粗悪な漠返紙。(すきかえしがみ)の産地でした。



## 神戸うまいもの地図

うまいもの店  
ごあんない

11

トアロウ  
39-14151

## 英國式バー・レストラン キングスアームズ

市庁舎向瀬但馬

コウベステーキ

ロシヤ料理

バ  
ラ  
テ  
イ  
カ  
生  
田  
筋  
東  
入  
る

スペイン料理

三宮阪急西口 "寿" 北上  
小宴会承り③2228

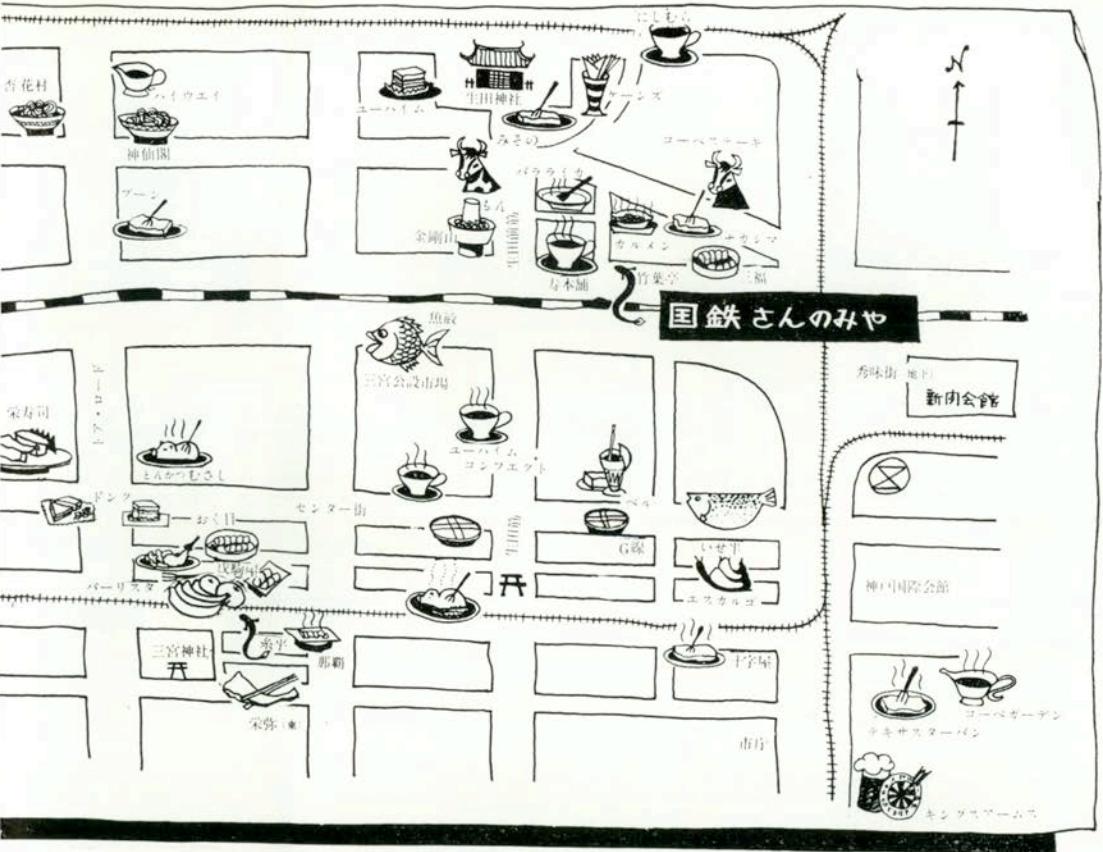
三宮阪急西口「寿」北上云  
小宴会承り③22222  
栄 江 戸 前 司

三宮三・柳筍  
TEL (3) 0069

とんかつ

武藏

三宮センター街  
TEL ③2296



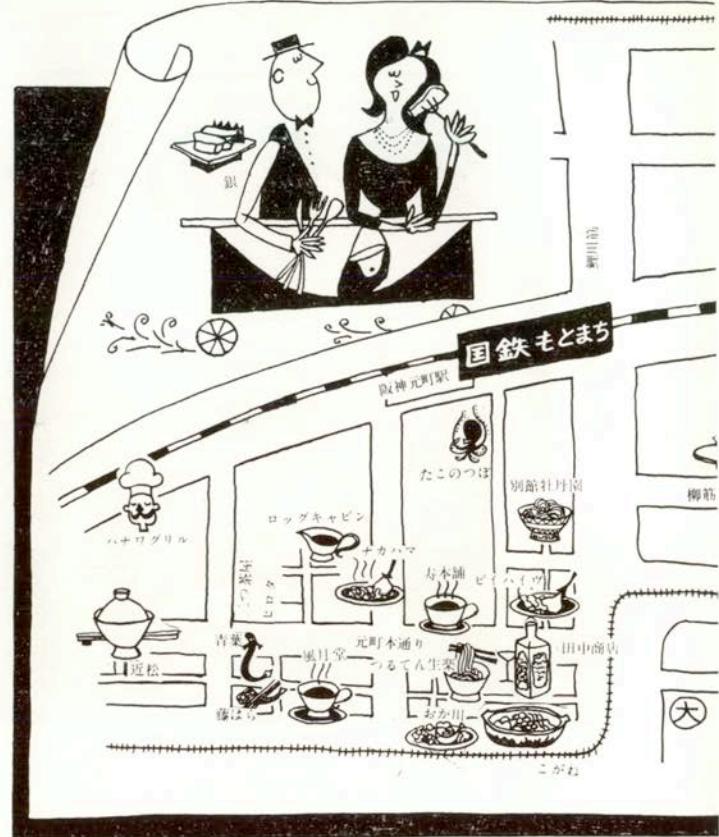
## ランチタイム

齊藤正造

トア・ロードにあるパウリスタの路地を入ってすぐの更に細い路地を入って二軒目に「こやなぎ」は、サラリーマンにとってもつてこいの手頃な洋食専門店である。エビコロッケ、カツ、ボーチャップ、いまならカキフライなど小さな黒板にかかるてある五イチである。かどかといつた小さい店にゴマかけのあつたかいドンブリ飯と漬けもの付きでオール一五一。飲みもの類はオール零。五人かけのカウンタ式二階はテーブル約十二、三人が入る。どちらかといつた小さなもの。その激しさは大へんなもの。ご出で下円トではななもの。

夫婦で揚げ料理した品を、若い二三人の女性が次の注文を聞くのも忙しげに動きまわっている。ラッシュユ?をはずせば、落着いて地を入り、誰の舌にも合ひそだう。ケンタがタマにキズ。味付けは家庭的で、誰のボクは、時々、オカズだけを追加注文することもあるが、それでも安いものだ。場所が証券会社や銀行などのオフィス街に近いとあって昼間は殆どが事務姿のBGやサラリーマン諸君で満員。帰れりだけには、マスターがすごく威勢のいい声で「毎度アリガト」を送り出してくれる。夜は割り合いと早仕舞いなのもこの店の特色で、エビコロッケが午後二時頃まで残る。念入

(銀行員)



スティキ

みその

三福  
TEL ③2456  
三宮阪急東山側

東神戸生田神社前  
東京田村町3

西洋御料理  
シャブ、シャブ  
オイル焼

もん

ハナワグリル  
元町5丁目  
(モダン寺高架浜側)  
TEL ④69425919  
神戸一の総合レストラン

朝鮮料理

金剛山

神戸・三宮・生田神社前  
市役所前東入  
TEL ③5561  
TEL ②4400

パウリスタ  
三宮トアロード  
TEL ③1362  
パン・蒲焼・日本料理

竹葉亭  
三宮阪急西隣  
TEL ③1114200